

無投票で宮口孝氏が当選

任期満了に伴う豊頃町長選挙が4月9日に告示され、立候補を届け出たのは現職で再選を目指す宮口孝氏（茂岩栄町・72歳）一人だったため、無投票で同氏の3度目の当選が決まりました。



4月15日、午前11時からえる夢館委員会室において、豊頃町長当選証書付与式が行われ、町選挙管理委員会の片岡富雄委員長から宮口孝氏に豊頃町長当選証書が手渡されました。

第3期宮口町政スタート

支える力 つながる心

私は、この度の豊頃町長選挙におきまして、町民皆様の力強いご支援をいただき当選の栄に浴し、4月23日町長に就任いたしました。平成17年の初当選以来、町民の皆様から負託を受け対話を重ね、協働の町づくりを目指し「安らぎと温もりのある町づくり」を町民との協働で実現するため、本町の21世紀プランであります第4次豊頃町まちづくり総合計画に基づき諸施策の推進に全力を傾注してまいりました。今日、社会経済情勢は大きな変革の時を向かえようとしております。近隣諸国との領有権問題や、朝鮮半島の脅威、また、東日本大震災を受けた原子力発電の安全性とエネルギー政策・被災地の復旧復興など国内経済の動向、さらに、今、正に議論の渦中にある「環太平洋連携協定（TPP）」参加問題など、本町の基幹産業であります農林水産業の今後に大きな懸念を抱かざるを得ない状況から、何としても協定締結に足止めをかけるべく関係機関とともに反対運動を展開しているところであり、結果によっては、本町基幹産業をはじめ商工業などにも大きな影響があるものと危惧しております。しかし、こうした情勢にあっても、子どもたちが夢を育む町、高齢者が安心して暮らせる町、皆さんが生き生きと働ける町を第一に考え、小さな町だからしなければならぬこと、できることを十分見極めしっかりと町民皆様の暮らしを守る町づくりに積極的に取り組まなければなりません。そのため、効率的で健全な行財政の運営を図るとともに住環境の整備、福祉サービスの充実、基幹産業の基盤整備と商工業の活性化、教育環境の整備充実を図り、「温もりと魅力あふれるふるさと豊頃町」を引続き創造するため、全力で3期目の町政運営を始める決意であります。私は、この厳しい変革の時にあつて、「報徳の教え」に支えられた長い歴史と豊かな自然を生かしながら、2期8年の実績を踏まえ、さらなる豊頃町の発展と将来世代への継承のため、町民皆様とともに英知を結集して協働のまちづくりを力強く推進することが、何よりも大切なことであると考えるところでありますので、町民皆様のなご指導とご協力をお願い申し上げます。



プロフィール

町長 宮口 孝

昭和15年10月7日豊頃町で生まれる。北海道立池田高等学校卒業後、昭和38年に豊頃村役場に奉職。税務課長、産業課長、総務課長を歴任し、平成元年5月から平成13年5月まで助役を務める。その後、豊頃町社会福祉協議会事務局長、株式会社DISPO代表取締役社長などを務め、平成17年4月の選挙で豊頃町長に初当選し、現在に至る。

温もりと魅力あふれる豊頃町づくりをあなたと共に！

ふるさとの暮らし

- ・快適な生活環境の整備
・災害に強い総合防災体制の充実
・福祉ゾーンを中心とした総合施策の展開
・移住定住化促進のための住宅助成と通勤助成
・津波に対する減災条件の整備

やさしい福祉・健康な生活

- ・心がかよう社会福祉の推進
・保険・医療サービスの充実
・障害者福祉・介護の充実
・中学校までの子どもの医療費無料化の継続
・高齢者への福祉タクシー券の継続

共に支えあうまちづくり

- ・町民と行政が共に命を育むまちづくり
・みんなが安心して生活できる行政サービス
・健全な行財政と信頼される行政
・広域連携行政の推進

豊かなみのりと明るいまち

- ・生産性を高める農業の振興
・湿害に強い農業の確立のための整備
・つくり育てる漁業の振興
・漁港機能の更なる充実
・森林の保全と利用
・活力のある商工業の推進
・市街地店舗の整備への助成
・民間活力の利用促進
・産業の担い手の育成
・観光の推進

ささえる子育て・豊かな教育

- ・安心して子育てできる支援の充実
・児童・生徒への助成支援の継続
・より良い教育環境の整備
・報徳の教えを大切にする教育の推進
・いきいきと学ぶ生涯学習の推進
・楽しむ文化・スポーツ活動の展開